

新基地 不合理と指摘

NDシンポ 実戦部隊は2000人

【名護】シンクタンクの
新外交イニシアティブ（N
D）は11日、名護市民会館
でシンポジウム『辺野古
が唯一の選択肢』に立ち向
かう―安全保障・経済の観
点から―を開いた。米軍再
編後も沖縄に残る実戦部隊

はわずか2千人で、辺野古
新基地を提供するのは不合
理だと指摘した。

NDは、移動手段を提供
すれば海兵隊は県外移転で
きると提言している。日米
両政府が言う抑止力につい



「抑止力」の実態について
発言するパネリスト11
日、名護市民会館

て、元沖縄タイムス論説委
員でフリージャーナリスト
の屋良朝博氏は「詭弁、虚
偽、虚像」、東京新聞論説
兼編集委員の半田滋氏も
「米の要求を実現するため
の方便だ」と断じた。

元内閣官房副長官補の柳
澤協二氏は、攻撃を受ける

前提で反撃を準備する抑止
力の思考から「和解による
平和」への転換を訴えた。
沖縄観光コンベンション
ビューロー会長の平良朝敬
氏はキャンプ・シュワブが
返還されれば沿岸部だけで
恩納村にある21ホテルが収
容でき、年間売上高500
億円と3万人の雇用を生む
と試算。名桜大准教授の真
喜屋美樹氏は復帰直後に名

護市が唱えた「逆格差論」
の精神を跡利用に生かすこ
とを提案した。

ND事務局長の猿田佐世
氏は「今後も東京でできる
ことを続ける」と話した。